

# 入社おめでとう 国労です

## 東日本本部青年部入社式行動



発行所  
国鉄労働組合長野地方本部  
長野市中側所3-2-22  
発行者 太田 克彦  
編集者 矢澤 栄雄

2015年4月17日  
第1506号

構えず、気楽に大胆に  
国労加入を訴えよう



4月1日、大宮ソニックシティにおいて、平成27年度JR東日本入社式が行われ、夢や希望を胸に1800名程の新入社員が入社をしました。国労東日本本部は青年部を中心に20名弱が集まり、長野地本からは新津、太田、坂本の3名で参加をして入社式歓迎行動を行いました。新入社員に「入社おめでとうございませ。」と声をかけ、ティッシュやボールペンを配り国労をアピールしました。「ありがとうございます」と立ち止まり受け取って

くれる人もいる反面、支社ごとに集まって会場に移動している人は中々受け取ってもらえませんでした。昨年より多くの新入社員に受け取ってもらう事が出来ました。初めて参加した仲間からは「なかなか受け取ってもらえずショックだった」と感想が出されました。今後、4月10日社会人採用、22日プロフェッショナル採用が研修を終え、各支社研修に入り現



場配属になります。各分会で新入社員対策の取り組みを宜しく願います。

### 新採者に組合説明会の開催を

4月3日、地本組織拡大会議が開催されました。諏訪書記長は開会挨拶で「今月は新採者が配属となる。支社に新採者の扱いについて申し入れた。ぜひ、職場で組合説明会を開いてほしい」と話がされました。

矢澤組織部長より「長野支社には80名が配属される。新採者用のグッズもある。やるべきことをやって成果を出そう」との呼びかけがありました。続き、各支部からの報告、決意表明があり、「レクなどの付き合いの中で『国労へ来いよ』と声をかけよう」との意見も出され、富沢副委員長より「国労の姿を見せよう」とのまとめがありました。



# 歓喜の交流会

3月13・14日、信濃町野尻湖で恒例行事となった「国労ワカサギ釣り交流会」を開催しました。今回の参加者は、エリア・地本・運転職協・工作職協・エルダーと広範囲の仲間が集まりました。13日、団結交流会は各職場報告と持論をぶつけ合い深夜まで議論となりました。14日、晴天に恵まれ、黒姫山・妙高山が青

空にくつきり浮かび上がった。屋形船は昨日の緊迫した交流とは打って変わり、早朝から大漁を祈願してビールで乾杯した。釣果は、朝からワカサギの食いが良く、リールの巻き上がる音と共に歓声が湧き上がりました。2日間の交流は1日目の厳しい議論と、2日目はリフレッシュできる楽しい日となりました。

## 健康診断でマイナス10歳と言われた それでも体がきつい、グウの根も出ない

3月13日、車両所支部においてエルダー交流会が開催されました。久保田委員長の「エルダー職場は労働条件がきつい、休日が少ないなどの問題がある。生の声を聞かせてほしい。また、組織拡大にもご協力いただきたい」との挨拶で始まりました。**ヒナタ電気** 今やっている仕事からヒナタは撤退する。115系の全機座席モケット交換などしていたが、



3月13日、車両所支部においてエルダー交流会が開催されました。久保田委員長の「エルダー職場は労働条件がきつい、休日が少ないなどの問題がある。生の声を聞かせてほしい。また、組織拡大にもご協力いただきたい」との挨拶で始まりました。**ヒナタ電気** 今やっている仕事からヒナタは撤退する。115系の全機座席モケット交換などしていたが、

### 信号・誘導

休日は本体並みに114日を求める。駅社員のエルダー先として信号・誘導を位置づけてほしい。分割・民営化時の血の入れ替えのようなものだ。**検修** 超過勤務はJRは100分の130だが、ここは100

分の125だ。A単価が安いと超勤も安い。通信教育を関連会社の希望する人にも受講できるようにしてほしい。関連会社の人にも運賃割引をしてほしい。**新幹線車両センター** 新幹線北陸延伸に伴い1日、2交換を練習しているが労働密度が高くなった。人も増えたがやることがない人なので大変。今までの倍をやるということだ。仕事のやり方も変えている。年休はお互いに遠慮して取りづらい。所長・副所長も現場に入っている。体がきつくグウの根も出ない。夏場は持つのかやってみないとわからない。掃除もマニュアルがあり、簡単ではないので定着しない。見かけはきらびやかだが中身は大変だということだ。**トランスポートテック** エルダーの賃金をあげてほしい。年休が取りづらい。仕事がかきつい。作業組の人数を増やしてほしい。塗装棟の作業環境が悪い。産業医は常時マスクを着用すべきとしているが、JR、ポータック共に改善に向けての取り組みがされていない。

## アスベスト健康管理手帳 第2陣、6名が申請書類を提出

3月12日、第1陣4名が健康管理手帳をしたのを受け、第2陣の6名分の申請書類を長野労働局に提出してきました。富沢副委員長を先頭に、車両所支部徳武書記長、大日方業務部長、鈴木、



そして申請者3名と神奈川労災職業病Cより池田さんと総勢8名で要請に行きました。今回は2回目なのでスムーズに進みました。新たにわかったことですが、交通費の申請書類に付添い人の項目があり、自分で歩行困難な人や公共交通機関に乗れない人は申請できること。タクシーを使っても認められる場合があることも確認できました。「宿泊」の項目もあったので聞きましたが、「離島からではないか」とのことようです。

## 長野に労働安全センターの設立を

3月12日の午前中、神奈川の池田さんと車両所支部・大日方、地本・鈴木で県労組会議の喜多事務局長を訪ね「長野に安全センター設立」の相談を行いました。環境問題をずっと研究している鵜飼信大名教授も同席し、神奈川や長野の情勢報告で意見交換をしました。喜多氏より「次回の幹事会で設立を提案したい」との話や、鵜飼教授より5月に行われるアスベスト

